

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q-1 建築物の環境品質・性能						
Q-1 室内環境						
1 音環境						
1.1 騒音	1 暗騒音レベル	3.0	0.15	-	-	3.6
1.2 遮音	1 開口部遮音性能	3.0	0.40	-	-	3.2
1.2 遮音	2 界壁遮音性能	3.0	1.00	-	-	
1.2 遮音	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	
1.2 遮音	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	0.40	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.40	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.30	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.15	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.15	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御	1 室温設定	3.0	0.60	-	-	
2.1 室温制御	2 温度制御	3.0	0.60	-	-	
2.1 室温制御	3 外皮性能	3.0	0.40	-	-	
2.1 室温制御	4 ゾーン別制御性	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 星光利用	1 星光率	4.4	0.30	-	-	
3.1 星光利用	2 方位別開口	4.0	0.60	-	-	
3.1 星光利用	3 星光利用設備	5.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策	1 グレア対策	3.0	0.30	-	-	
3.2 グレア対策	2 昼光制御	-	-	-	-	
3.3 照度	1 照度	3.0	1.00	-	-	
3.3 照度	2 照度計測	3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策	1 化学物質汚染	5.0	0.50	-	-	
4.1 発生源対策	2 汚染物質対策	5.0	1.00	-	-	
4.2 換気	1 換気量	3.0	0.30	-	-	
4.2 換気	2 自然換気性能	3.0	0.33	-	-	
4.2 換気	3 取り入れ外気への配慮	3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理	1 CO ₂ の監視	3.0	0.20	-	-	
4.3 運用管理	2 噴煙の制御	3.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		0.30	-	-	-	3.6
1 機能性		3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ	1 広さ・収納性	6.0	0.60	-	-	
1.1 機能性・使いやすさ	2 高度情報通信設備対応	-	-	-	-	
1.1 機能性・使いやすさ	3 ハリアフリー計画	6.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	1 広さ感・景観	2.0	0.40	-	-	
1.2 心理性・快適性	2 リフレッシュスペース	1.0	0.50	-	-	
1.2 心理性・快適性	3 内装計画	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31	-	-	3.6
2.1 耐震・免震	1 耐震性	3.8	0.48	-	-	
2.1 耐震・免震	2 免震・制振性能	4.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	1 外壁仕上げ材の構修必要間隔	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.5	0.33	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	3 配管・配線材の更新必要間隔	3.0	0.29	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	4 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.12	-	-	
2.3 部品・部材の耐用年数	5 電気設備機器の更新必要間隔	4.0	0.29	-	-	
2.3 部品・部材の耐用年数	6 通信・情報設備の更新必要間隔	4.0	0.29	-	-	
2.4 信頼性	1 空調・換気設備	3.4	0.19	-	-	
2.4 信頼性	2 給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	3 電気設備	4.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	5 通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり 1 階高のゆとり 2 空間の形状・自由さ 3.2 荷重のゆとり 3.3 設備の更新性 1 空調配管の更新性 2 給排水管の更新性 3 電気配線の更新性 4 通信配線の更新性 5 設備機器の更新性 6 バックアップスペース	階高3.8m 更新時に建物機能を維持が可能	3.3	0.29	-	3.3
			3.6	0.31	-	
			4.0	0.60	-	
			3.0	0.40	-	
			3.0	0.31	-	
			3.4	0.38	-	
			3.0	0.17	-	
			3.0	0.17	-	
			3.0	0.11	-	
			3.0	0.11	-	
Q-3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 地域性・アメニティへの配慮 3.1 地域性への配慮、快適性の向上 3.2 敷地内温熱環境の向上	底付き屋外換気口廻しの設置 城南記念公園の設置 屋上緑化、中庭の芝生化	0.30	-	-	4.2
			3.0	0.30	-	3.0
			5.0	0.40	-	5.0
			4.5	0.30	-	4.5
			5.0	0.50	-	
			4.0	0.50	-	
					-	3.3
					-	3.7
					-	
					-	
LR-1 エネルギー	1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 2.1 自然エネルギーの直接利用 2.2 自然エネルギーの変換利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用 4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制	PAL値409.5	5.0	0.30	-	5.0
			3.0	0.20	-	3.0
			3.0	0.50	-	
			3.0	0.50	-	
			3.6	0.30	-	3.6
			3.0	0.20	-	3.0
			3.0	0.50	-	
			3.0	0.50	-	
					-	
					-	
LR-2 資源・マテリアル	1 水資源保護 1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水再利用 1 雨水利用システム 2 雜排水利用システム 2 低環境負荷材 2.1 資源の再利用効率 1 施工材料の再利用効率 2 非構造材料の再利用効率 2.2 持続可能な森林から産出された木材 2.3 有害物質を含まない材料 2.4 既存建築躯体などの再利用 2.5 部材の再利用可能性 2.6 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 断熱材 3 冷媒	高効率機器の採用	0.30	-	-	3.3
			3.0	0.15	-	3.0
			3.0	0.40	-	
			3.0	0.60	-	
			3.0	0.67	-	
			3.0	0.33	-	
			3.4	0.85	-	3.4
			3.0	0.35	-	
			4.0	0.67	-	
			1.0	0.33	-	
LR-3 敷地外環境	1 大気汚染防止 2 騒音・振動・悪臭の防止 2.1 騒音 2.2 振動 2.3 悪臭 3 風害・日照阻害の抑制 3.1 風害の抑制 3.2 日照阻害の抑制 4 光害の抑制 5 温熱環境悪化の改善 6 地域インフラへの負荷抑制 6.1 雨水処理負荷抑制 6.2 污水処理負荷抑制 6.3 交通負荷抑制 6.4 廃棄物処理負荷	府内産の木材を使用 化学物質を排出しない材料を使用 既存体育館を改修して利用 ハロン消火剤を一切使用しない	3.0	0.15	-	3.0
			3.0	0.15	-	3.0
			3.0	0.15	-	3.0
			6.0	0.04	-	
			6.0	0.08	-	
			4.0	0.18	-	
			3.0	0.18	-	
			3.0	0.18	-	
			4.0	0.33	-	
			3.0	0.33	-	
			2.0	0.33	-	
LR-4 用途別得点表	学校 14267 m ²	-	-	-	-	面積按分 総合スコア
			5.0	-	-	5.0
			データ未入力	-	-	0.0
			—	-	-	
			—	-	-	
			3.0	-	-	
			4.0	-	-	
			5.0	-	-	
			6.0	-	-	
			-	-	-	

LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	-	
3 設備システムのERIによる評価	データ未入力	-	-	-	-	
高効率化	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1 空調設備	3.0	-	-	-	-	
3.2 換気設備	4.0	-	-	-	-	
3.3 照明設備	5.0	-	-	-	-	
3.4 給湯設備	6.0	-	-	-	-	
3.5 昇降機設備	-	-	-	-	-	